



「わとくのサンルームから」

兵庫県立和田山特別支援学校

←本校ブログページのQRコードです。

校長 野口 照正

この度の能登半島地震におきまして被災された皆さまに、心からのお見舞いを申し上げます。

1 祝 卒業

3月15日（金）に本校で卒業式を執り行いました。18名の卒業生が、本校を巣立っていきました。私が式辞で述べた一部分を記載します。

（前略）卒業する皆さんへ、卒業の餞としてある方のお言葉を贈ります。それは、プロ野球阪神タイガース前監督矢野燿大さんのお言葉です。

かけ算で「心×行動」という式の答えは何か。その答えは「結果を変える」でした。つまり「成功を信じる力が大切である」ということです。矢野さんは四年間の監督生活で、この言葉をチームの「合い言葉」にしていたそうです。矢野さんが蒔いたこの種が、三十八年ぶりのプロ野球日本一を成し遂げたひとつの要因になったものと、このお話を伺って私はつくよく感じました。「心に行動をかけたら 結果を変えられます」。自分や仲間を信じて、自ら結果を変えられるような人物に皆さんがなれることを、大いに期待しています。（後略）

矢野燿大さんのお言葉は、勤務年数を問わず、我々社会人にも通用しますね。

矢野さんのお言葉を胸に刻み、令和6年度も「わとく」は職員が一丸となって頑張ります！



2 物品のご寄付をいただきました

この度、全国信用協同組合連合会様ならびに兵庫県信用組合様の地域・社会貢献事業に伴う『「しんくみピーターパンカード」利用に係る基金』から、お心のこもった物品のご寄付を賜りました。このありがたいご厚志により、スクールバスで使えるチャイルドシートや大型扇風機、電子機器類のほか、令和6年度から本校で本格的に取り組む「Eスポーツ」のソフトや周辺機器を購入することができました。卒業式の後、本校校長式で受領式を行い、本校生徒会長さんが物品の受領と、本校を代表してお礼の言葉を伝えました。



3 快挙を支えた「言葉のちから」

大相撲の今年度春場所は、ご存じの通り、尊富士関が「新入幕で初優勝」という快挙を成し遂げました。前日の取り組みで足首を負傷したにも関わらず、本割で勝ち切り自身の力で優勝を決めたその精神力には、感服しましたね。この彼の精神力の裏話が翌日に記事となっていたので、紹介します。「言葉のちから」は、素晴らしいものですね(^_^)v

(前略) 同部屋の先輩である横綱・照ノ富士の言葉で、心境に変化が生まれたと言います。「正直僕も諦めてたんですけど、横綱が自分のところに来て『どうだ?』って言って、『ちょっとこの状況できついです』って『歩けないです』って伝えたら、横綱自身のいろんな話を聞いて、『お前ならやれる』って『記録はいいから、お前は記憶に残せ』。『勝ち負けじゃない。最後まで出ることがいいんだよ』って『負けてもいいから、しょうがねえって、でもこのチャンスはもう戻ってこないよ』って『俺もそういう経験あるし』と横綱自身の経験を言われて、横綱に言われた瞬間に少し自分で歩けるようになったんですよ。怖いぐらいに。(後略)

最後までお読みいただき、ありがとうございました。